

前途に幸多かれ 県内私立高で卒業式



それぞれの未来へ、新たな一歩
 1。高知市の土佐塾高校と学芸高校
 で27日、県内のトップを切って卒業
 式が行われ、約500人が将来への期待
 を胸に母校を巣立った。

高知市北中山の土佐塾高校では220
 人が晴れの日を迎えた。紅白幕で
 彩られた体育館に門出の校歌が響
 く。在校生や保護者に見守られなが
 ら、代表6人が卒業証書を受け取っ
 た。

山崎澄夫校長は「有言実行であ
 れ、努力を怠るな。前途に幸多かれ
 と祈っています」と卒業生を激励。
 卒業生代表の政岡智也さんは陸上部
 で全国大会に進んだ経験や学校行事
 を振り返り「知らないことを知る喜
 びを学んだ。人のために一生懸命頑
 張れる人間でありたい」と答辞を述
 べた。

式の終盤には、卒業生が「ちよつ
 と待った!」と声を上げ、保護者や
 教員に感謝を述べる和やかな一幕
 も。退場の紙吹雪の下は、破顔、
 涙、照れ笑い…。もう毎日は会えな
 くなる友人たちとの別れを惜しみな
 がら、思い出の校舎を後にした。

ほかの私立高でも順次卒業式が行
 われ、3月1日には多くの県立高で
 卒業式が行われる。

卒業証書を受け取る3年生（27日午前、高知市北中山の土佐塾高校＝島本正人撮影）

（竹内悠理菜）